

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の人々の力を学校に取り込むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ 68号

小城市立小中一貫校
 芦刈観瀾校
 H29. 3. 7 (火)
 文責：白井

◆ 本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。さまざまな取組によって、子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育んでいく様子をお伝えしています。

地域ボランティアの方々に、3学期もたくさんの支援をしていただきました。一年間、ありがとうございました。



3年生豚汁会 1/13



1年生昔あそび 1/17



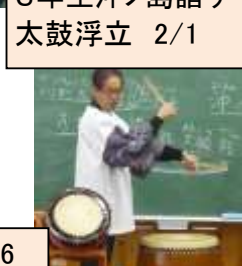
3年生沖ノ島詣り・太鼓浮立 2/1



5年生廃油石鹸・和紙づくり 1/27



5年生調理実習ご飯とみそ汁 1/24・26



感謝状贈呈

活動最終日には、子ども達から感謝状やお礼の手紙を渡して、感謝の気持ちを伝えました。

今年度、のべ597名の地域ボランティアの先生方に、子ども達の見守りや、学習・体験活動の支援をしていただきました。

ボランティアの先生方は、いつも温かく愛情たっぷりに子ども達を見てくださいました。一年を通して子ども達と関わる中で、その成長ぶりに感心され、たくさんの誉め言葉をいただきました。時には、地域での子ども達の危険な行為やマナーの悪さを指摘していただくこともあり、とても有り難く思いました。改めて、地域の皆様に支えられている芦刈っ子の幸せを感じます。

感謝をテーマに



6年生ふるさと展覧会

～6年間お世話になったボランティアさんに感謝の気持ちを込めて～

6年生は、卒業を迎えるにあたって、6年間お世話になった地域ボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えようと、「ふるさと展覧会」を開きました。

事前に、地域の方々の思いに触れるためインタビューを行い、その内容をまとめて、感謝の気持ちとともに発表しました。その会の中では、ボランティアの先生方と将棋をしたり肩もみをしたりして、直接触れ合う場をもちました。

ボランティアに参加して下さる方々の思いを知ることで、子ども達にも地域に貢献しようという気持ちが湧いてくることでしよう。



6年生インタビュー活動 1/26・31



6年生ふるさと展覧会 2/17



8年生立志式水墨画指導



8年生立志式小筆指導

ボランティアの先生へ
 中学部生徒の感謝の手紙から(一部抜粋)

- 私は、初めてファスナー付きのペンケースを作った時、布の折り方や縫い方が分からない時に、やさしく、「心配しないでゆっくりぬってごらん」と声をかけてもらった時は、本当にうれしかったです。
- ボランティアの先生方が、ゆっくりわかりやすく説明していただいたので、緊張もほぐれてぬうことができました。
- 水墨画の描き方を教えてくださってありがとうございました。ぼくも将来、水墨画の先生になりたいです。その時には、技を伝授してください。
- 私は立志式の目標を書くときに、字が下手なのでとてもいやでした。でも、色々な指導を受けて書いた後、作品を見てみると、本当に私が書いたものなのか？と思いました。先生方のおかげです。